

NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

事業内容

◆事業名 被災者支援コーディネーション機能確立のための基盤整備事業

◆事業内容

柱1 被災者支援コーディネーションの全体機能の検討

柱2 支援分野別のコーディネーションを検討

柱3 コーディネーター育成研修

柱4 コーディネーションの周知・普及

◆事業に至った経緯／目的

日本のどこで災害が起きても支援の「もれ・むら」を無くすために、行政・社会福祉協議会・NPO等が連携して、必要な支援を効果的に届けるための「被災者支援のコーディネーション」の基盤を整備する。

成果

- ・被災者支援コーディネーション委員会、災害中間支援組織が集まる場において被災者支援コーディネーションの役割や機能等について検討を重ね、「被災者支援コーディネーションガイドライン」を作成
- ・被災者支援の全体像を14分野に整理し、ニーズや課題が多い5分野からワーキンググループを立ち上げ、分野別のコーディネーションガイドラインを作成
- ・本事業で作成したガイドラインを基に、被災者支援コーディネーター人材育成研修プログラムを開発。2県で研修を実施。



「被災者支援コーディネーションガイドライン」

都道府県域全体調整の他に、5分野のガイドラインを作成。

【5分野】

- ・家屋保全
- ・食と栄養
- ・子ども支援
- ・物資支援
- ・外国人支援



長野県での人材育成研修の様子

事業のふり返し／今後の課題や展望

効果的な被災者支援を具現化するためには、ガイドラインを基に支援関係者間で、支援で目指す状況の共通認識を図っておく必要性を再認識した。JVOADとしては、ガイドラインを更に充実させていくとともに、各地で行政・社協・NPO等の三者によるコーディネーション体制構築をサポートしつつ、災害時を想定したシミュレーション型訓練等を通じて、三者の役割を検証・改善していく事業に発展させていく。